

2026年度 獣医学研究科 博士課程 第1期入学試験問題  
(必修： 食品衛生学 )

【出題の意図】

設問 1. わが国における 2023 年度の細菌性食中毒の原因菌として最も多い細菌種を答えなさい。その上で、この細菌種のフルオロキノロン系抗菌薬に対する耐性機構について、フルオロキノロン系抗菌薬の作用機序の解説を含めて分かりやすく説明しなさい。

食品衛生学の一般的なトレンドを聞いた上で、これから専門的に研究をしていく、薬剤耐性菌についての深い知識を確認した。

設問 2. 薬剤耐性菌に関する以下の問いに答えなさい。

問題 1: わが国の現在の AMR 対策アクションプランは、次のうちどれか？

1. 2018-2025
2. 2020-2026
3. 2023-2027
4. 2025-2029
5. 2025-2030

薬剤耐性菌問題について、知っておいてほしいトレンドを確認した。

問題 2: わが国の動物分野の AMR モニタリングは、以下のシステムのうち、どのシステムで実施されているか？

1. JANIS
2. J-SIPHE
3. JVARM
4. NAMS
5. EUCAST

薬剤耐性菌問題について、公衆衛生上の基礎知識を確認した。

問題 3: 薬剤耐性菌の定義について述べよ。

これから専門的に研究を行う薬剤耐性菌についてその基礎となる定義について確認した。